

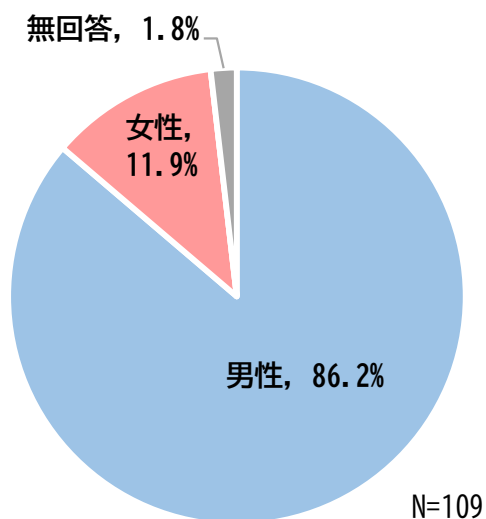
2025年8月5日に開催されたシンポジウム「日高から考える持続可能な観光と地域づくり」を聴講頂いた方々を対象に、今後の日高地域の持続可能な観光地域づくり推進に向けてアンケートを実施しました。

調査対象	シンポジウム「日高から考える持続可能な観光と地域づくり」参加者		
シンポジウム参加者	合計211人（会場：107人、WEB：104人）	回答数	109票（回収率51.7%）

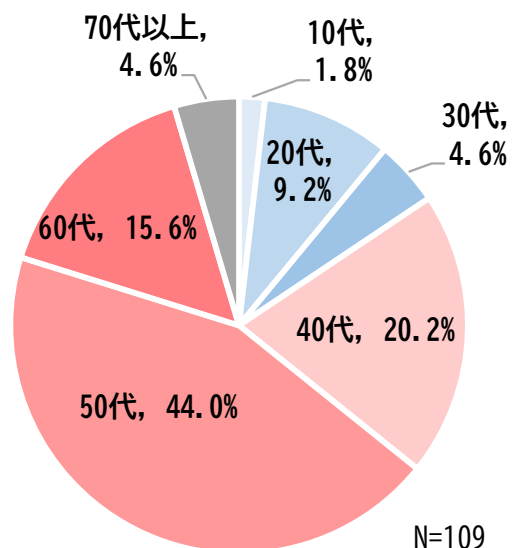
設問	
問1	回答者の属性について
問2	本日のシンポジウムに参加された理由をおきかせください。
問3	本日のシンポジウムに対する満足度をお教えてください。
問4	満足度の理由をお教えてください。
問5(1)	日高地域の観光コンテンツで、強み（ポテンシャル）と思うものをお選びください。
問5(2)	日高地域において持続可能な観光と地域づくりを進める上で必要な取組をお選びください。
問5(3)	あなた自身が、日高地域の観光や地域づくりに関わるとしたら、やってみたいことはありますか。
問5(4)	観光と地域づくりの取組において、行政・民間・住民の連携を深める為に必要なことはなんだと思いますか。
問5(5)	本日のシンポジウム全体を通して、感想やお気づきの点がございましたら教えてください。

問1：回答者の属性について（性別、年齢、職業、居住地）（1つずつ選択）

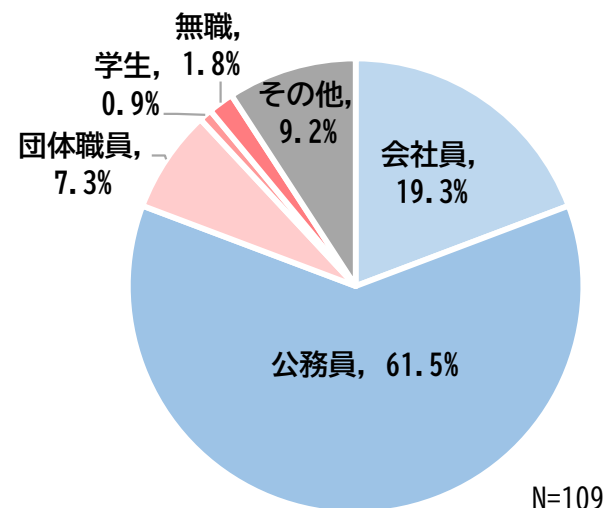
【回答者の性別】



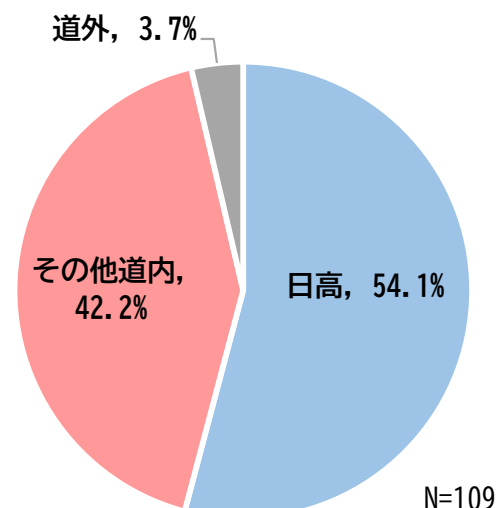
【回答者の年代】



【回答者の職業】



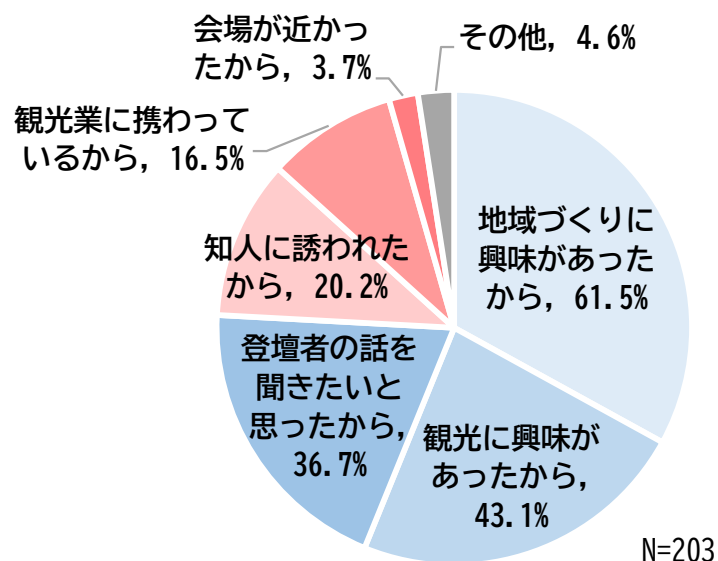
【回答者の居住地】



- ・性別は、「男性」が86.2%、「女性」が11.9%となっています。
- ・年代は、「50代」が44.0%と最も多く、次いで「40代」が20.2%、「60代」が15.6%、「20代」が9.2%、「30代」及び「70代以上」が4.6%、「10代」が1.8%となっています。
- ・職業は、「公務員」が61.5%と最も多く、次いで「会社員」が19.3%、「その他」が9.2%、「団体職員」が7.3%、「無職」が1.8%、「学生」が0.9%となっています。
- ・居住地は、「日高」が54.1%と最も多く、次いで「その他道内」が42.2%、道外が3.7%となっています。

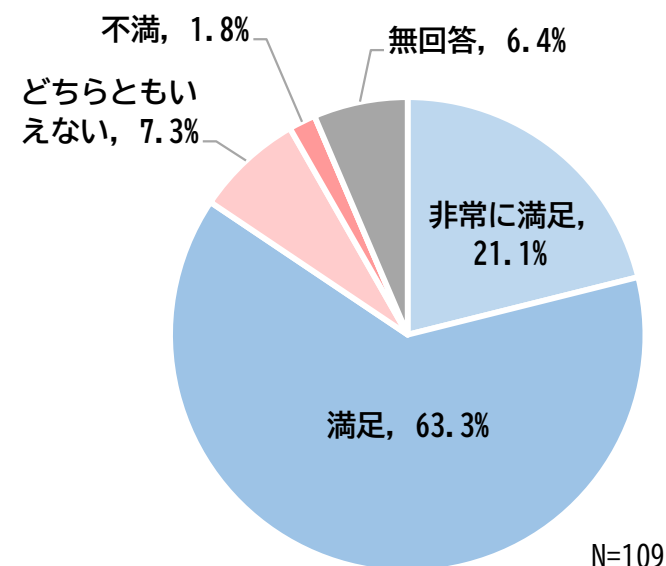
問2 本日のシンポジウムに参加された理由をおきかせください。（複数選択可）

【①観光に興味があったから、②地域づくりに興味があったから、③観光業に携わっているから、④登壇者の話を聞きたいと思ったから、⑤知人に誘われたから、⑥会場が近かったから、⑦その他】



問3 本日のシンポジウムに対する満足度をお教えてください。

【①非常に満足、②満足、③どちらともいえない、④不満、⑤非常に不満】



問4 満足度の理由をお教えてください。（自由記述）

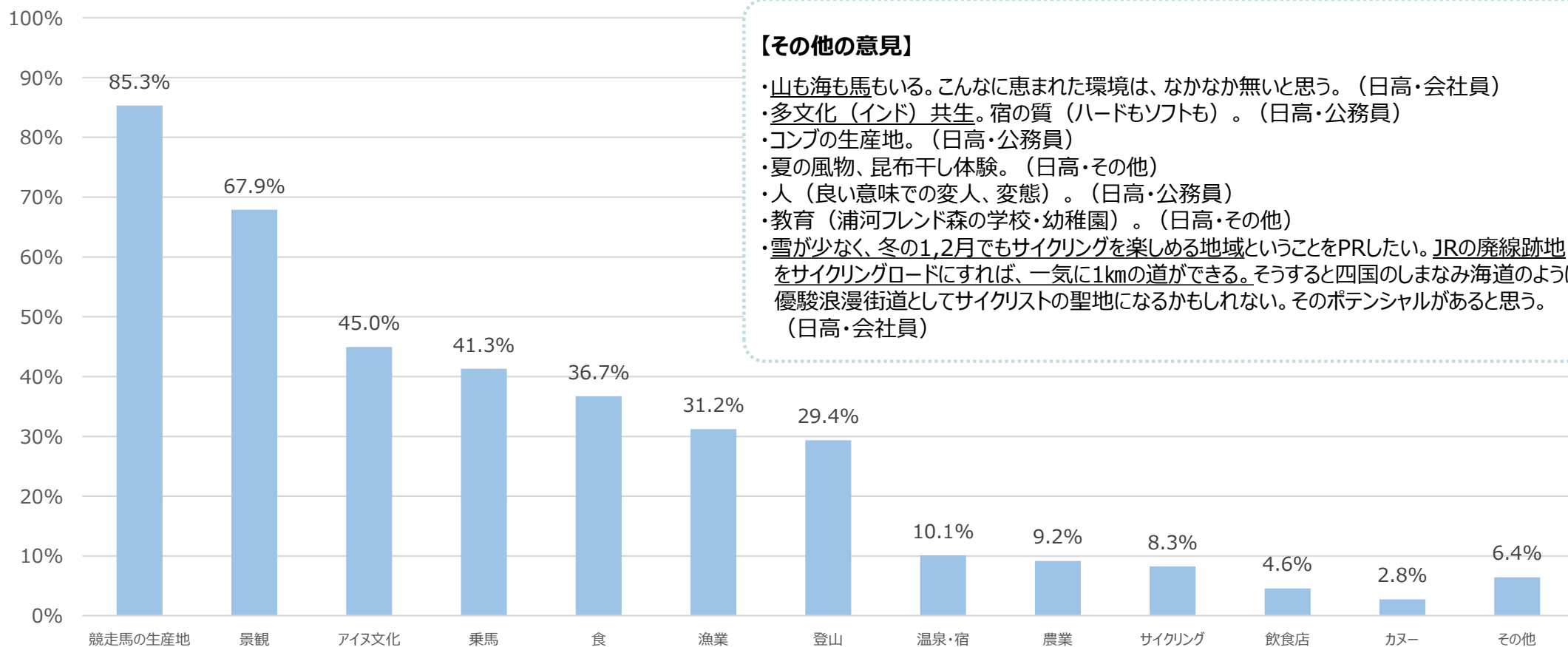
- ・他の地域から日高を訪れて、現在、住まれて活動されている姿に感銘した。また、地域における魅力を再認識する機会となった。パネリストの皆さんのお話をはじめ、コーディネーターの進行、コメンテーターの解説、すべてがわかりやくとても良かった。（日高・公務員）
- ・最新の学術的見地を学んだうえで、パネリストの方々の実際的な意見・経験、これからの改善可能性について話を伺えたため。（日高・その他）
- ・リアルタイムアンケートは非常に良い。パネリストと会場が一体となった感じがした。あと2問くらいアンケート項目があっても良いと感じた。（日高・公務員）

- ・シンポジウムに参加した理由は、「地域づくりに興味があったから」の61.5%が最も多く、次いで「観光に興味があったから」が43.1%、「登壇者の話を聞きたいと思ったから」が36.7%となっています。
- ・シンポジウムに対する満足度は、「満足」が63.3%と最も多く、次いで「非常に満足」が21.1%、「どちらともいえない」が7.3%、「不満」が1.8%となっています。

問5 日高地域における持続可能な観光と地域づくりに向けたご意見をお聞かせください。

(1) 日高地域の観光コンテンツで、強み（ポテンシャル）と思うものをお選びください。（複数選択可）

【①景観、②食、③飲食店、④アイヌ文化、⑤競走馬の生産地、⑥農業、⑦漁業、⑧温泉・宿、⑨乗馬、⑩登山、⑪カヌー、⑫サイクリング、⑬その他（自由記述）】



【その他の意見】

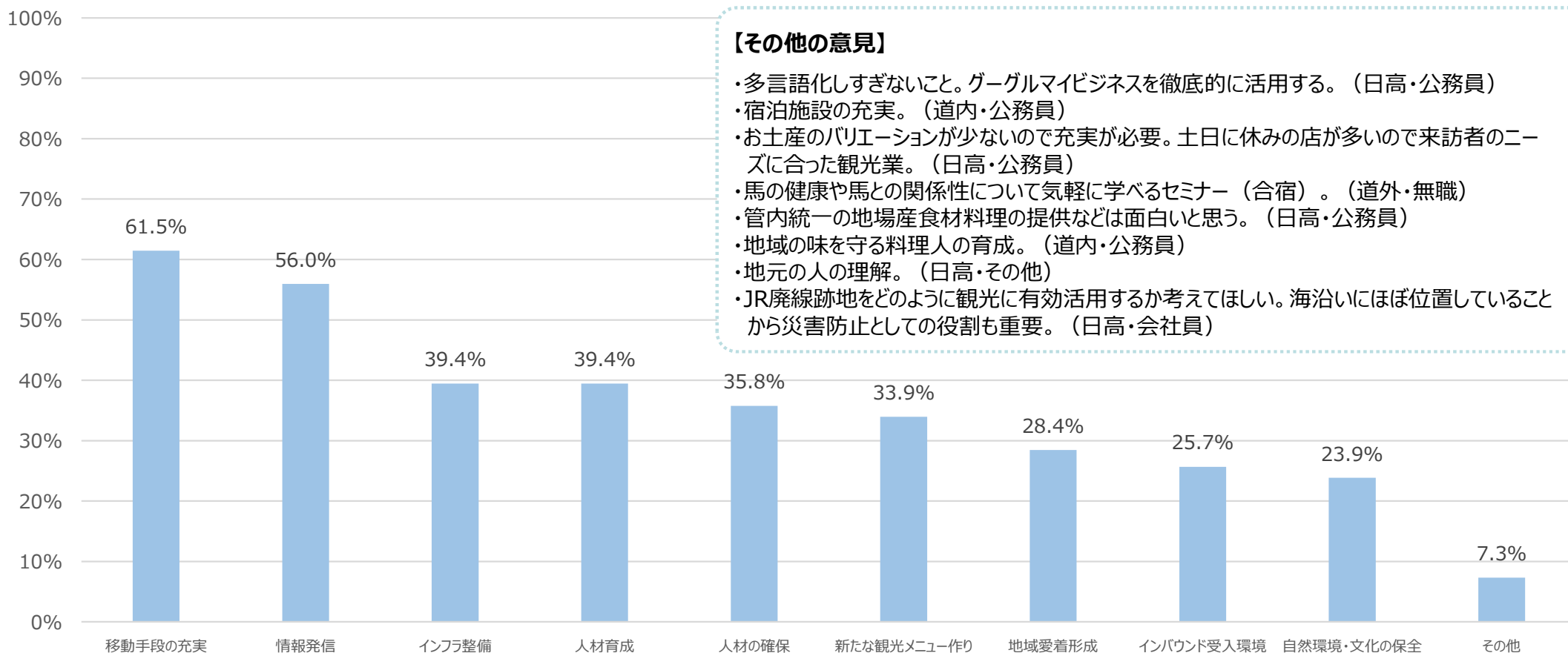
- ・山も海も馬もいる。こんなに恵まれた環境は、なかなか無いと思う。（日高・会社員）
- ・多文化（インド）共生。宿の質（ハードもソフトも）。（日高・公務員）
- ・コンブの生産地。（日高・公務員）
- ・夏の風物、昆布干し体験。（日高・その他）
- ・人（良い意味での変人、変態）。（日高・公務員）
- ・教育（浦河フレンド森の学校・幼稚園）。（日高・その他）
- ・雪が少なく、冬の1,2月でもサイクリングを楽しめる地域ということをPRしたい。JRの廃線跡地をサイクリングロードにすれば、一気に1kmの道ができる。そうすると四国のしまなみ海道のように、優駿浪漫街道としてサイクリストの聖地になるかもしれない。そのポテンシャルがあると思う。（日高・会社員）

・日高地域の観光コンテンツで、強み（ポテンシャル）と思うものについては、「競走馬の産地」が85.3%と最も多く、次いで「景観」が67.9%、「アイヌ文化」が45.0%となっています。

問5 日高地域における持続可能な観光と地域づくりに向けたご意見をお聞かせください。

（２） 日高地域において持続可能な観光と地域づくりを進める上で必要な取組をお選びください。（複数選択可）

【①移動手段の充実、②新たな観光メニュー作り、③情報発信、④インフラ整備、⑤インバウンド受入環境の整備（キャッシュレス化、多言語対応、Wi-Fi等）
⑥人材の確保、⑦人材育成、⑧自然環境・文化の保全、⑨地域への愛着形成に繋がる取組の実施、⑩その他（自由記述）】



・日高地域において持続可能な観光と地域づくりを進める上で必要な取組については、「移動手段の充実」が61.5%と最も多く、次いで「情報発信」が56.0%、「インフラ整備」、「人材育成」が39.4%となっています。

問5 日高地域における持続可能な観光と地域づくりに向けたご意見をお聞かせください。

(3) あなた自身が、日高地域の観光や地域づくりに関わるとしたら、やってみたいことはありますか。(自由記述)

【観光アトラクション造成】

- ・景観を活かし、サウナを強みとした温泉。(日高・公務員)
- ・地域内外に関係なく、親御さんとお子さんが、一緒に体験し、感動し、生涯忘れられない思い出づくりができると、とても面白いと思う。産業体験など。
(日高・公務員)
- ・BTC(軽種馬育成調教センター)や牧場での体験。ナイトツアー(野生動物に会える)。(日高・会社員)
- ・地元小学生・中学生に出張授業として「コンブカリントウ」を作る体験をしている。地元から一般の人へ拡大できないか。(日高・その他)
- ・①農業・漁業などの体験型ツアーで野菜の収穫、昆布干しなどを通して日高をより知ってもらう。加工品などのおみやげ付き。
②乗馬で自然の中を移動、移動先でテント等(ロッジでも可)で宿泊する1泊2日程度のアドベンチャーツアーの実施。
③アイヌ文化に触れる体験型ツアー。工芸品の製作、舞踊を習ったり、オハウを食べてチセに宿泊。(道内・公務員)
- ・日高山脈の観光化。高齢者にも身近に感じる国立公園として地域づくりが参画できるように思う。(道内・会社員)

【馬産地振興】

- ・馬の生産に関わってみたい。競走馬を見ているのは好きだが、いろいろな事件があって今はなかなか見ることも難しくなっている。(日高・公務員)
- ・馬に興味のある人が基本的な知識を学べたり、簡単な世話をすることができる施設や機会を作って、日本の馬好き人口を増やしたい。そうすることによって競走馬を育てる人たちの待遇改善やモチベーション向上に繋げ、最終的に多くの馬がハッピーになれるようにしたい。(道外・無職)
- ・現役馬の放牧の様子を観察したり厩舎で写真撮影ができるようなツアーのほか、日高でしか手に入らないような関連グッズの販売等をもっと活発に出来ればと思う。
(道内・公務員)

【プロモーション】

- ・戦略的なプロモーション、日高に来たくなるような情報発信。(意外と札幌に近い、馬やさくら、海産物など、日高ならではの魅力を伝える努力が必要)
(日高・公務員)
- ・地域の方々が自分の町のことを知ることが大切だと考えている。外への発信以上に内への発信を強化して、自分の町のことをもっと知る機会が増える取り組みを試みたいと思う。(日高・会社員)

【連携体制づくり】

- ・日高地域7町の連携をうまくできるようにしたい。1年に1回、7町合同で何かをやるようにしたい(対面で出来るもの)。(日高・団体職員)
- ・日高地域の観光関係者の人脈は少しずつ広がっていると感じている。問題意識を持っている人や面白いことを考える人を繋げて、ワクワクする取組につなげたい。
(日高・公務員)
- ・国・自治体・事業者・住民・旅行者を一体的に繋げるネットワーク作りに挑戦してみたい。(道内・公務員)

【その他】

- ・レンタカー事業者と連携して道内で車での周遊に抵抗が少ない国(地域)の誘客事業。(日高・公務員)
- ・サイクリストとしてこの地域はとても有望。①雪が少ないので冬も可能 ②JR廃線をサイクリングロードにする。(日高・会社員)
- ・幼稚園留学や地域みらい留学などの取組の促進(日高・その他)
- ・イオルの形成。(道内・団体職員)
- ・毎年戻って来なくなるイベント。イベントの内容は自然または動物関係。
(道外・無職)
- ・この地域(日高や北海道)に対してどんなイメージを持っているのか聞いてみたい。また、地域の中から見た目線として、「何もない町」と感じる人達が、なぜその考えなのか聞いてみたい。(道外・学生)

問5 日高地域における持続可能な観光と地域づくりに向けたご意見をお聞かせください。

（４）観光と地域づくりの取組において、行政・民間・住民の連携を深める為に必要なことはなんだと思いますか。（自由記述）

【場づくり】

- ・行政、民間、中間が集まり、意見交換ができる場づくり。自分事として物事を考えられる人を増やす。（日高・団体職員）
- ・まずは行政、民間、住民、関係なく町の魅力などを再認識する場などがあればよいと思う。（日高・公務員）
- ・本シンポジウムのようなイベントを通じ、新たな人脈作りにつなげること。（道内・公務員）
- ・今回のシンポジウムのような、地域の事業や将来にかかわるような活動を、より多くの人が参加しやすい場所・時間であったり、参加したいと思えるイメージ作りが必要だと思った。（道外・学生）

【コミュニケーション】

- ・仕事でもプライベートでもできるだけ地域に足を運んで実際に触れること。（道内・公務員）
- ・立場を理解しあえるコミュニケーションの充実による共働。（道内・会社員）
- ・なんといってもコミュニケーションが重要だと思う。頻繁に会合を開いてお互いを知り合うことが連携の第一歩。（道外・無職）

【ビジョンの共有】

- ・現状の課題や目指す方向性の共有。（日高・公務員）
- ・同じデータ（数値）を行政、民間事業者、住民が把握、共有して日高地域のビジョンを形成すること（定義づけ）。（日高・公務員）
- ・どのような立場においても、地域づくりを進めるためのモチベーションが大事であると考え。目標の設定・共有が必要であると思う。（道内・公務員）

【行政の支援】

- ・日高だからこそ、各町ならではのこともっと真剣に考え、熱意を持って動こうとしている人達のバックアップなり、もっと情熱発信なりに真剣に取り組んでほしい。（日高・自営業）
- ・民間主体の取組への行政の参加。（道内・公務員）
- ・国と住民との連携には、やはり地域の役場の役割が重要。（道内・公務員）
- ・お金の面だけでなくパブコメを活用する等、官民が一体となってもっと積極的に取り組んでいく必要があると思う。（道内・公務員）
- ・予算をつけて、やる気のある会社や個人にやってほしい。（道外・その他）

【連携体制】

- ・スモールスタートで良いので、核となる数人がい同じ視点で、トライアンドエラーの中で成功事例を積み上げていくことで、徐々に広がり、つながりを作ること、理解や参加が進められればいい。（日高・公務員）
- ・シーニックバイウェイのように多様な産学官民金との繋がりを持った連携となる体制構築。（道内・公務員）
- ・柔軟に連携できる仕組みを作ること。（道内・公務員）
- ・戦略に基づくDMOやDMCとの連携。（道内・団体職員）
- ・連携するための基盤形成として連携組織が必要。（道内・その他）

【シビックプライド】

- ・日高の町民が自分の町を誇りに思ってもらえるための取組が必要だと思う。（日高・公務員）

【リーダーシップ】

- ・オール日高の体制づくりと、それを進める中心的な人づくり。財政的にも事務的にもオール日高体制を引っ張っていく行政と民間（中核都市）司令塔。（日高・公務員）

問6 本日のシンポジウム全体を通して、感想やお気づきの点がございましたら教えてください。（自由記述）

【感想】

- ・アカデミックな観点と、民間ビジネスからの視点というコンビネーションが大変斬新に感じられた。欲を言えば、パネリスト同士の現在の繋がりや今後の協働の展望などがあれば、お話をいただきたかったと感じました。（道内・公務員）
- ・基調講演では、観光を学問として聞くことが出来て良かった。パネルディスカッションでは、地域で活動している方々の活動内容を聞くことが出来て良かった。もっとたくさんの地域の方々に知ってもらえると良いのと思う。（日高・公務員）
- ・パネリストの皆さんは、楽しさと責任の両方を持ちながら取り組まれていると思った。（日高・公務員）
- ・4人のパネリストは、こういう方々が、日高にいることを心強く感じた。（日高・公務員）
- ・登壇者の皆様のお話とても参考になったし、面白かった。（道内・公務員）
- ・パネリストの方々が多種多様で拝聴していて、楽しかった。（道外・無職）

【気づき・提案】

- ・旅の目的となるもの、何をメインに押し出すかとともに、サブをどれだけ充実させるかがカギと感じた。（道内・公務員）
- ・「観光コンテンツ」という言葉の使われ方に意義を唱えた点を話して頂いてよかった。「人を動かす魅力」は何かを追求することで、デスティネーションとして選ばれるようになる。それによって交通のハンデは克服できると感じた。馬産地にも貢献する観光をさらに考えていきたい。（日高・公務員）
- ・馬産地という事もあり、インバウンドの受け入れなどの地域よりできるような下地はあると思う。そういった面では、地域住民と来観者との繋がりを取り持つような活動が必要と感じる。（日高・公務員）
- ・点を線で繋ぐという話はよく耳にするが、人という点を繋いでいくことがとても大事だと思う。私自身も実践中。（道内・その他）
- ・パネリストは、自分がしたいことと、相手がしてほしいことが一致していると感じた。一方的でないことが受け入れられるためのポイントと思った。（道内・公務員）
- ・もともと地元の人ではなく、地域おこし協力隊的な方が町おこしの強い味方になることが多いと感じた。（道内・公務員）
- ・貴重な話を聞くことが出来て良かった。持続可能なまちづくりを進めるために、若い人達へ町の魅力を伝えていく必要があると感じた。（日高・公務員）
- ・まだまだ、日高地方は知られていないと思う。もっと知ってもらうような発信が必要だと思った。（日高・その他）
- ・日高地域の観光資源活用の難しさも感じた。（道内・会社員）
- ・観光資源があってもそれを活かすことは難しいと感じた。（道内・公務員）

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。